

政府高官の訪台 経済絡みには余地 斉藤外務次官語る 朝日新聞-1994.01.11

**政府高官の訪台
経済絡みには余地
斉藤外務次官語る**

（本）斉藤外務次官は十日の記者会見で、日本の閣僚や政府関係者の台湾訪問について「日中共同声明の原則と精神を守る、すなわち台湾との関係は政治面以外の関係に限定するとの基本方針に変わりない。この方針に照らし、個々の訪問の内容と諸般の関係要素を考えたうえで慎重に判断する」と述べた。経済関係や国際会議に関連する政府高官の訪問などに余地を残したものとみられる。

斉藤氏はまた、羽田孜副総理・外相が北京での記者会見で閣僚訪台の可能性を否定したことについて「近い将来、例えば年内に訪台があるのか」という質問に対しての答えだった。それ以上ではない」と述べ、外相発言が閣僚訪台を将来にわたって拘束するものではないとの認識を示した。